令和6年度 地理歴史科 「日本史特別研究」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 文系・理系 3年A~D組 選択者
教科書	詳説 日本史探究(山川出版社)	副教材等	最新日本史図表 詳録新日本史史料集成(第一学習社)

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を以下の(1)~(3)に基づいて育成する。

- (1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
	4	古代史	日本の黎明期	史料から古代史について学ぶ 旧石器・縄文	・定期考査 ・提出課題 ・授業への参加
			古代国家の形成 古代外交史	小国の分立・邪馬台国・大和政権	
		古代文化史	古代外交史	仏教伝来 古代仏教史 (奈良・平安前期まで)	
	5			飛鳥・奈良・平安時代初期の政治 律令制度	
			土地制度の変遷		
		中世政治史	武家政権の樹立	武家政権の樹立 支配構造の変化	
	6		第1回考査		
前		中世宗教史	中世宗教史	末法思想以降の仏教	・定期考査 ・提出課題
期		経済史	産業の発達 通貨史	古代の産業【農業を中心に】 中世の産業【農業・商業】	・授業への参加
	7			通過史(古代・中世)	
		中世政治史2	室町政権の樹立	鎌倉幕府滅亡から室町政権の樹立	
		中世政治史3	織豊政権	室町幕府の滅亡 織豊政権の樹立	
	8				
	9		第2回考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
	10	近世経済史	江戸時代の経済	江戸時代前期の経済 江戸時代中期の経済	・定期考査 ・提出課題 ・授業への参加
	11	近世外交史	江戸時代の外交	江戸時代後期の経済 江戸時代初期の外交 江戸時代後期の外交	
後期	12	近世文化史	江戸時代の学問	儒学・国学の変遷	
刼		see the state of	第3回考査		
	1	近現代外交史	社会運動と思想近現代の外交	明治期の社会運動と思想 明治時代初期外交と戦争 第1次世界大戦 日中戦争と第2次世界大戦	・定期考査・提出課題・授業への参加

3 評価の観点

知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。本の歴史的事象について多角的、多面的に考察しているか。
主体的に学習に 取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

4 評価の方法

おもに定期考査によって、知識・技能および思考・判断・表現について評価します。主体的に学習に取り組む態度については提出物や課題の取り組み状況によって評価します。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

2 学年で学習した内容をもとにして知識の定着を図ります。昨年度扱った内容を再度復習をしておくと学習効果が高まります。取り扱う内容がどうしても多くなりますが、アウトプットもしっかりと行い、知識の定着を図ってください。